

平成28年度

# 事業報告書

平成28年 4月 1日から  
平成29年 3月 31日まで

東京都港区北青山2-5-1  
公益財団法人 伊藤忠記念財団  
理事長 小林 栄三

# 第1号議案 平成28年度（H28.4.1～H29.3.31）事業報告・決算承認の件

## I. 平成28年度 事業報告

当財団は青少年の健全育成を目的として昭和49年に設立され、現在は子ども文庫助成事業と電子図書普及事業を行っている。平成28年度は、子ども文庫助成では42回目の助成を行った。電子図書普及事業では、マルチメディアDAISY図書の製作配布を7年間行い、平成28年度では1,121ヶ所に配布した。

## 子ども文庫助成事業

1975年より継続して実施している国内外で子どもの読書活動を草の根活動として携わるボランティアの皆様に加えて、平成28年度も、東南アジアの子どもたちに向けた「絵本を届ける運動」に参加している。

### 1. 平成28年度 助成件数・金額

本年度の助成件数・金額は、以下の通り。

（ ）内は海外件数、内数 （金額単位：百万円）

	予 算		応募件数	実 績	
	助成件数	助成金額		助成件数	助成金額
① 子どもの本購入費助成	45	13.5	99 (6)	43 (1)	12.9
② 病院読書支援 購入費助成	5	1.5	9 (—)	3 (0)	0.9
③ 子どもの本100冊助成	22	3.3	72 (10)	26 (5)	3.6
④ 子ども文庫功労賞	2	0.7	8 (—)	3 (0)	1.1
⑤ その他読書支援					
シャンティ絵本を送る活動		2.3			2.2
被災地読書支援		1.8			1.5
日本人学校図書助成		0.6			0.8
小 計	74	23.7	188 (16)	75 (6)	23.0
（内、指定寄付金に基づく助成）		(2.6)			(3.1)
贈呈式 費用		3.9			3.8
その他 事業費		12.0			10.3
人件費		18.0			17.9
合 計		57.6			55.0

### ① 子どもの本購入費助成（現金助成）

#### ・ 対象

子ども文庫、読み聞かせ団体、こども文庫連絡会等で、子ども達の読書啓発活動を行っている民間の団体又は個人、及び実質的に草の根運動とみなされる団体。

#### ・ 内容

図書等の購入、充実を目的とした購入費を1件当たり30万円助成。

②病院・施設こども読書支援 購入費助成（現金助成）

・対象

病院内で長期療養中の子どもたち、障害児施設、養護施設等の子どもたちに対し読書啓発を行っている民間の団体又は、個人及び実質的に草の根運動とみなされる団体。

・内容

子どもたちが読書を楽しむための図書等の購入、及び障害のある子どもたちに対する支援機器等の購入、図書作成のための費用を含み、30万円助成。

③子どもの本 100冊助成（図書現物助成）

・対象

上記①、②共通

・内容

当財団が選書した100冊の児童書セット（小学校低・中・高学年別の3種類）のうち1セットを贈呈。

④子ども文庫功労賞

・対象

子ども文庫を永年に亘り（概ね20年以上）を運営されてこられた個人で、子どもの読書啓発活動に貢献されてこられた方。第三者のご推薦による申し込み。

・内容

賞状、副賞（30万円及び記念品）

⑤その他読書支援

シャンティ絵本を東南アジアの子どもたちへ贈る運動

・対象

カンボジア、ラオス、アフガニスタン、ミャンマーの子ども達。

・内容

シャンティ国際ボランティア会が主宰するカンボジア、ラオス、アフガニスタン、ミャンマー等に、日本語の絵本を贈る運動。東日本大震災の被災地の子どもたちや、伊藤忠商事社員と活動に参加し、平成28年度は980冊を送った。

被災地読書支援

・内容

全国学校図書館協議会に協力頂き、被災地で児童書を必要としている小学校10校に子どもの本100冊図書セットを寄贈した。

日本人学校等への図書助成

・内容

海外の日本人学校、補習校に対し「児童書セット（105冊）」を5校に寄贈した。

# 電子図書普及事業

障害があるために、通常の書籍では読む事が困難な子どもたちの「読書環境の向上」を目的に、児童書お電子化し、「わいわい文庫」と名づけ、全国の特別支援学校等へ寄贈している。あわせて、障害のある子どもたちの読書支援ができる人材の育成を目的に「読書バリアフリー研究会」の主催や「福祉機器展」等への出展を全国各地で行っている。

## 1.電子図書の製作、配布

前年度製作した電子図書 66 作品を 1,121 団体に寄贈した。平成 28 年 4 月から障害者差別解消法が施行され、障害者に対し合理的配慮をする義務が生じたこともあり、公共図書館からの申込みが 50 件増加し、平成 27 年度に対し全体で 99 件増加した。

平成 28 年度は 70 作品を製作。「日本昔話の旅シリーズ」では、10 県立図書館の協力を得、累計で 20 道県の作品を揃えた。又、任天堂や、都立高校・特別支援学校の生徒の協力で、「小倉百人一首」を電子化した。

配賦年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
寄贈作品数	58	55	61	66
寄贈先	670	909	1022	1121

## 2.利用促進活動

- ・利用者の利便性向上を目的とし、「わいわい文庫活用術⑤」の編集を行った。

## 3.広報・啓蒙活動

### ① 読書バリアフリー研究会の開催

各地の公共図書館の協力のもと、文部科学省、公益社団法人全国学校図書館協議会、開催地の教育委員会の後援を得て大学教授などの専門家を招き開催した。

日程	会場	参加人員
6月4日(土)・5日(日)	都立多摩図書館・埼玉県立久喜図書館	135
6月25日(土)・26日(日)	三重県立図書館・岐阜県立図書館	125
10月1日(土)・2日(日)	長野県立図書館・山梨県立図書館	70
10月29日(土)・30日(日)	山形県立図書館・秋田県立図書館	81
	合計	411

### ② 福祉機器展等への出展

種々の関係者が集まる展示会で、「わいわい文庫」の展示と紹介を行った。

4月	子ども読書推進フォーラム（文部科学省主催・東京）
6月	視聴覚障害者リハビリテーション研究発表大会（静岡）
7月	マジカルトイボックス（福祉機器展・東京）
8月	全国図書館研究大会（兵庫）
9月	図書館総合展（大分）・日本図書館研究会中国セミナー（島根）
11月	図書館総合展（神奈川）・日本LD学会（福井市）
12月	ATACカンファレンス（特別支援教育研究会・京都）
1月	弱視教育研究全国大会（群馬）

③ 他団体主催公演等への協力

財団職員が講演会の講師や原稿執筆を行った。

	展示会名
7月	横浜市立盲特別支援学校職員研修会
8月	八王子市学校司書研修会・埼玉県立越谷特別支援学校職員研修会
10月	仙台市立図書館職員研修会・西東京市図書館主催セミナー
11月	枚方市立中央図書館主催セミナー（大阪）
2月	日本図書館研究会九州セミナー（鹿児島）
3月	日本図書館協会発行 「図書利用に障害のある人々へのサービス」 原稿作成協力

4.電子図書普及事業部 経費内訳

	予算	実績
・製作・普及等事業費	10.2	9.1
・その他 経費	8.8	8.6
・人件費	20.1	19.8
計	39.1 百万円	37.5 百万円

## Ⅱ. 平成 28 年度 (H28.4.1~H29.3.31) 決算報告

### (損益計算書) 資料一1 「損益計算書推移」参照

	計画	実績
【経常収益】 ほぼ計画通り	(113.6	→ 113.1 百万円)
(主要因)		
・再投資遅れによる金利減	( 84.0	→ 83.1 百万円) △0.9 百万円
【経常費用】 当初計画より 6.4 百万円減少	(112.8	→ 106.4 百万円)
(こども文庫助成事業)	( 57.6	→ 55.0 百万円) △2.6 百万円
・文庫助成件数減 (P.1 明細表参照)	23.7	→ 23.0 百万円 △0.7 百万円
・訪問・謝礼・贈呈式費用減	7.1	→ 6.3 百万円 △0.8 百万円
・印刷・什器他	26.8	→ 25.7 百万円 △1.1 百万円
(電子図書普及事業)	( 39.1	→ 37.5 百万円) △1.6 百万円
・「わいわい文庫」増刷減	△0.7	他
【調整前当期経常増減】	( 0.9	→ 5.8 百万円)
・上記理由による。		
【当期経常増減】	( 0.9	→ △29.4 百万円)
・昨年 86 百万円の評価益を計上した、国債 8 銘柄の評価損 36.1 百万円による。		

### (貸借対照表) 資料一2 決算報告書の内「貸借対照表」参照

- ・総資産は昨年末に比較し 24 百万円減少となった、主たる要因は上記。
- ・基本財産/普通預金 1.5 億円の減少は、4 月の再投資による。
- ・基本財産/定期預金 4.5 億円の増加は、債権の償還に伴う再投資ができず定期預金として繰り越しした事による。
- ・運用資産 47 億 59 百万円 利回り 1.75%

監査報告書は、決算報告書に続き、「資料一3」として添付。

平成 28 年度（H28.4.1～H29.3.31）平成 28 年度事業報告書の付属明細書

平成 28 年度事業報告書には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する附属明細書については、事業報告の内容を補捉する重要な事項が存在しないことから作成していない。

平成 29 年 3 月 31 日  
公益財団法人伊藤忠記念財団